關通記

9

ワ 3
2762
1-1

関通記

又一

ワ函3
2762
1-1

保
2762
1

箱根御関所

定

一 関所を出入の車荷改申候ニおよばず候へ共通すへき事

一 荷物少々ニ而も出入の車荷改申候ニおよばず候へ共通すへき事

一 関より外より出る女ニ而も入鉄炮ニ而も通すへき事

附 荷物ニ而なくして乗而通る女の儀ハ書附ニ及ばず候へ共通すへき事

一 急度病人并不審成る者ハ通すへからざる事

一 営上ニ而人ニ而請人等ニ而も其関所ニ而あらため通すへき事

一 改むるに不及ハ雑人ニ而も通すへき事

右之通被仰渡奉畏入候

以上

元治元年子四月　日

奉行

書面之通被仰渡承知仕候
依而請書如件
子十一月九日　酒井因幡守

関所ニ而取扱書物賃

女手形之事

一　書物荷掟　　壱人ニ付

一　弾左　　是ハ穢多人別之者ニ而賃銭取候ニ付ニ候

一　尼　　是ハ普通之女賃銭取候ニ付ニ候

一　比丘尼　　是ハ浅草上人谷光寺上人ニ而も又ハ諸上人之弟子又ハ寺院ニ而も尼ニ候ハヽ無賃銭ニ而通行

一　賃切　　是ハ賃之長短ニ不拘又ハ中ニ而も切候ニ而も賃銭取候ニ付ニ候

一　小女　　賃ニ而人ニ抱ニ候ハヽ賃銭取候ニ付ニ候

是ハ前髪ニ而袖之有無ニ不拘小女ニ候ハヽ賃銭取候ニ付ニ候

一　孔心　　男女共

一　百顔　　男女共

一　四人　　男女共

一　首　　男女共

一　死骸　　男女共

右之通被仰渡ニ付書面之通女手形ニ而ハ賃銭取候ニ付ニ候

但女手形ニ而も男子ニ候ハヽ賃銭取候ニ付ニ候

右之通被仰渡ニ付書面之通女手形ニ而ハ賃銭取候ニ付ニ候

但女手形ニ而も男子ニ候ハヽ賃銭取候ニ付ニ候

御訴訟書付を元禄年中請取所
吉濱の者同志を廻状にて入札を以右之者
一同評儀之上限を以小女
弐九月
迎来る朝
書翰を以
小女
大女
一面部標咽乳かよ
如此
一髪之中

仕[illegible]判[illegible]書[illegible]

書面之通訴訟[illegible]

右奉書之通訴訟[illegible]
女出訴之[illegible]入念相[illegible]
[illegible]上

成九月

成九月十九日

右[illegible]通[illegible]

但同[illegible]月九日奉[illegible]

[illegible]

関所女通[illegible]判[illegible]

上[illegible]

[illegible]判表[illegible]書[illegible]

書[illegible]

来[illegible]

十四年[illegible]九月七日同十[illegible]

[illegible]

右[illegible]同[illegible]通[illegible]心得[illegible]

一[illegible]関所[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之[illegible]

享和三[illegible]

[illegible]月 日

箱根関所 [illegible]

[illegible]

関宿同断
碓氷同断
福島同断
小岩
市川同断
金町
松戸同断
小掛同断
房川渡
中田同断
大戸同断
結ヶ原同断
大笹同断

右同文言

一 同十一日

右両日之書状披見仕候、然ハ元箱根中川新蔵様ゟ之御二通共ニ本陳ゟ関東筋代官
中川飛騨守ゟ御付届福島迄差越候間、
御請書差遣ス

但御手紙之趣ハ元箱根ゟ之
差遣

但御陣中ゟ之御手紙ハ
略ス

一 同断ニ付左之通ニ記ス

御朱印之内ゟ
御黒印ニ而
御書出ニ相成候ハヽ
御朱印ニ而
御書出ニ相成候ハヽ

右之通前ゟ之同日同断ニ付差支之書ニ付左有
改ゟ十合ル

但御書出之儀ハ小
石出ニ而本陳ニ
而ハ不書遣ス

一旦離縁又再縁いたし候節、縁切状の儀、離縁状の儀、
有之候ハヽ、其縁切状又ハ離縁状、
有之候ハヽ、其縁切状又ハ離縁状、
有之候ハヽ、其縁切状又ハ離縁状、

書面一旦離縁又再縁いたし候節、縁切状の儀、
切状ハ離縁状の儀、
一同所通達いたし候方可然哉の旨、

松下三郎兵衛

右大久保安藝守殿御家老共江
申渡候ハヽ、
申渡候ハヽ、
申渡候ハヽ、

一昨日差上申候通之迷書図訴一通ニ而
手前ニ而ハ無之候得共
同役共一同申談之上
之処ニ而ハ無之候へ共
先例ニ而ハ無之候へ共
之通ニ而ハ無之候へ共
右之通同役共一同
差支之儀ニ而ハ無之候
有之候ハゝ
又ハ
不申上候
届有之候ハゝ

寛政二庚戌年八月廿六日書役

享和三癸亥年七月
右大概ニ而相成ル

七月

汉字ニ而ハ無之候へ共
ニ而ハ無之候

右御用番ニ而差上候ニ付

同廿二日

一 去ル十八日和泉屋
候由ニ而
届有之候

八月廿一日

右ハ
一 去ル十八日和泉屋
候由ニ而
届有之候

一 手形ニ返リ書入又ハ消候ハヽ證印捺候事

一 以上之文字書面下ニ捺候ても不苦又ハ以上之上二字
上ニ上ケ候も不苦候

一 年号月日之上ニ月番名之内宛名之相
明ケ名之内字ヲ村ニツ折ニ而折目ニ懸候事

一 宛所之関所之字一二字も此方之連名ハ一字ツヽ
右ハ二ケ所違イ之ハ隠候人改中ニ文字ニ罰
之文字ハ小ハ小サク隠候事

一 手形之認ハ一段ニ而隠候ハヽ認候
貴一名并二ニ人并三年号并ニ関所宛
并ニ人改中

一 右之通リ認候ニ付文字小サキ方ニ而隠事

一 手形ニ而文字ニ請取候を墨ニ而一字ツヽ抹消して
認ニ申事

一 手形之文字墨黒ニ而薄キ字無之様ニ認候

一 在村役人之判形之入候様切上ケ無之様

一 以上ト判形之間以上ト判形ニ而以之字ハ認候事

一 但文化元子七月迄ハ以上星ヲ用候て
初ハ以上之外

一 読キ之字切候ハ上候ハヽ當字ニ而右ヲ切ニハ
不苦候

一 手形ニ文字之内ニ文字ハ雛形ニ通リニ而認可申

女従国関所云相違ニ
御座無御座候以上

女何人内何人従何国何郡何村迄箱根関所無相違
ニ被成通可被下候以上
享和三年亥何月何日 出雲
右京
佐渡
近江
箱根
人改中

何ン誰殿
女手紙

何枚

長サ二寸七分
巾一寸

何ン誰殿
髪切女手紙　何枚
同　勝負附女手紙　同
同　江戸手紙　同

同　小女手紙　同
同　尾手紙　同
同　娘男手紙　同

同
長髪男図入手紙　同
同

長髪着物手紙　同
悪源何検挨状
女手紙　同
町家ノ娘ノ
女手紙　同
中山道中ノ方ノ
女手紙　同

同
写図入手紙　同
同

送髪手紙　同

女手紙　同
高木彈蔵

江島ノ手紙ノ
女手紙　同

右ハ三家方ノ内ノ
但日ヲ記シ
候ヲ失ス

依テ要ヲ
出ス伴ノ方ノ
女手紙　何枚

右ハ三卿附家ニ
候ハ是又後ノ

一 松三家松三卿方ニ勤ル石高ニ応シ
云々自然ト書上ノ次第ニ依ル事
一 及ト又字ニ事
殿松三家松三卿 殿 同約大名 及 布衣以下
老年寄 布衣以上 方
松平伊賀守方ハ殿ト及ノ中ノ時代ニ
一 松平伊賀守方ハ殿ト及ノ中ノ字ヲ以
入ル新規ノ事
一 御同苗ノ上ニ女石ヲ加ル事
一 松平大和守同明石守方ヘ申文ノ字ヲ書ク事
一 目光ノ通ニ勤ル事
上野殿尚ノ
女房
一 表女中ノ勤ニ准ス事
西尾大奥女中ニ准ス事ノ
女房 何役
改正御新令 同
一 大名ノ家ノ御新令ニ准ス事
一 大名ノ家ノ御新令ニ准ス事

ノ石ヲ女ノ字ヲ加ル事
尼ニ准ス事
一 松平大和守方ヘ申文ノ字ヲ用ヒル事
御筆ト書ル事
一 松平大和守方ヘ申文ノ字ヲ用ヒル事
事ニ准ス事
一 松三家方ニ勤ル方ヘ家老ヨリ及ル書付ノ事
一 諸侯ヘ及ル書付ノ事
一 諸侯ヘ及ル書付ノ事
一 大奥女中ヘ及ル書付ノ事
一 大奥女中ヘ及ル書付ノ事

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

一 [illegible]

[illegible]

右孔公関人[illegible]

相通し 壱通 振人路方へ通り

長慶孔公[illegible]

孔公[illegible]

関人[illegible]

遣慶[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

重病之女[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寺持候ものハ別紙證文ニ而十人以上ニ而も

一紙手判ニ而相済候事

一 右之内何之人元禄十五年九月諸国関所江條目
相渡置候処其後ハ何とやらん女髪之儀相極其外
處不大臣細ニ而元乙手判ニ認入出候ニ不相成候ニ付又候
京都江も年数御糺有之候勘定奉行衆年々二月
朔日ゟ前々之通御改ニ相成候

禅尼

比丘尼

尼

寛政元巳三月月番丹後守殿江窺書 伺書之
同年七月大目付中而取計候ニ付右因
より入来 貴手書

是ハ尼ニ而女髪剃ざるをと云

髪切女ト云ハ夫ニ離又ハ髪切ニ而入剃ニ至
上包ニ而髪切女何人有之ニ付女ニ而寄入
関所髪切女何人有之ニ付女ニ而字除
上包ニ髪切之名目不書女入剃
ニ而致し

髪切

是ハ後室又ハ後家ニ而不相成元髪ニ切
すへらかし候て髪の末の長さハ肩ニ
頬之ものの之又ハ髪先切中程の髪
延立候髪切ニ而結候ハ髪切と八

不相成事

髪を切候女

是ハ一旦髪切又ハ剃髪之後髪延
も髪伸候而ハ無之故髪を切候女ニ
而改候ニ付享和二亥年酒井因幡守殿
ニ而極有之候

小女

是ハ歯黒ニ而肩毛有之内ハ何歳ニ
而も候ハ小女ニ而候小女と申関所ニ而振袖
着用ニ而振袖ニ而不相成候ニ付振袖
小女と内元服髪切ニ而一切不改候得共小女
ニ而候得ハ又振袖着候ても肩毛有之候
ニ而振袖着候小女と候得共後ハ小女ニ准し
振袖着用之事

附国風俗ニ而年ニ付夫有之女ニ而
茂肩毛有之女ニ而手判ニ而国風ニ而
肩毛有之女ニ而認て書を添候て

隊経女

一 隊経女ハ徳之島ニ流人ニ来リ和
元年十二月帰島ス
一 隊経女ハ内縁ニ而隊経女ト称シ
国許ニ元妻ヲ残置
一 隊経女ハ和年間ニ
一 隊経女ハ徳之島ニ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ

一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ
一 隊経女ハ

但裁判所ハ従前ノ府中塔ノ山ニ在リシヲ
新ニ本年ヨリ別ニ府中ノ内ニ設ケラレ
候ニ付甲州府中ハ甲斐ト
唱ヘ候儀ニ不相成候事

一 来ル七月一日ヨリ甲州ノ内ヘ通ル
駅馬ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ市川ヘ通ル下ル町迄ハ
一日ニ三駄ト定メ候ヘ共其外
ハ一日ニ二駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル駅馬ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
飛脚ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三度ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル飛脚ハ一日ニ二度ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
状箱ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三度ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル状箱ハ一日ニ二度ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
書状ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三度ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル書状ハ一日ニ二度ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
荷物ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル荷物ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
人馬ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル人馬ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
人足ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル人足ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
伝馬ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル伝馬ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
仙洞附
御所附
御用状ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル御用状ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
御所附
仙洞附
御用状ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル御用状ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
御用状ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル御用状ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
御用状ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル御用状ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
御用状ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル御用状ハ一日ニ二駄ト定メ候事

一 来ル七月一日ヨリ甲斐国ヘ通ル
御用状ハ左ノ通リ相定メ候事
甲府ヨリ石和ヲ経テ笛吹川ヲ渡リ
右岸ヲ上ル下ル共一日ニ三駄ト定メ候事
但シ石和ヨリ分レテ御坂ヲ越シ谷村ヲ経テ
都留郡ヘ通ル御用状ハ一日ニ二駄ト定メ候事

九七年九月大切之及月番ニ而
到向ニ有之候ニ付
流也ニ而
一
婦　同姓　子息　悴　婦添
寛文六年午ノ年
同二酉年七月ニ而
一松平肥後守殿
一稲葉能登守殿
八ニ帰伯ニ
同九乙年三月ニ而
一松平肥後守殿
同六巳年ノ月
一松平肥後守殿
若狭守殿ニ而
同九乙年三月ニ而
一松平肥後守殿
同六巳年ノ月
一松平肥後守殿
若狭守殿ニ而

一奥方　同宅
天和十戌年三
一松平左京亮殿
寛文二寅年
一松平陸奥守殿
同三年十月ニ而
一本庄甲斐守殿
妻同母同様
引越ル

同六巳年十二月十
一松平陸奥守殿
享和元酉年ニ而
一淀府ニ城代松浦肥前守殿

女去年[illegible]
天化六酉年十月[illegible]
一松平下総守内方石仕女春石仕女下女
[illegible]

一祖母 実母 養母 母 継母
寛政九巳年三月[illegible]
一冊被下実父実母[illegible]
享和元酉年八月[illegible]
一松平次郎太夫祖母[illegible]
寛政六寅年三月[illegible]
一須賀雅楽[illegible]母
日本生年六月[illegible]
一母[illegible]
日本生年二月[illegible]
一飛川[illegible]
養母同役去石仕女
寛政九巳年七月[illegible]

[illegible]
母同実母同役[illegible]
日本生年二月廿九日
一松平大膳亮[illegible]
[illegible]
日本生年十月[illegible]

一松平隠岐守[illegible]
[illegible]

一娘 嫁 妹 小女
寛政六寅年[illegible]
一酒井左衛門[illegible]
享和元酉年七月[illegible]
一当春[illegible]
後ち久世大和守[illegible]
[illegible]
同年同月
一松平左京亮[illegible]

養母門書差出候ニ付、
安永三年午十月廿八日
一 寛改右衛門娘ニ而右衛門娘ニ而
不及改但年数通帳ニ
通リ〳〵ニ紛無之候ニ付
寛改ニ書載ニ而
一 旦那同様ニ
但相撲
寛政二戌年九月廿
一 酒井左馬助
右ニ准ス
旦那同様ニ而
寛政三亥年十
一 種痘ニ而
但シ
月九ヒ年十月
一 伯母 叔母 姉妹 従弟女 姪
右ニ准ス
旦那同様ニ而
寛政二戌年九月廿
一 酒井左馬助
右ニ准ス
旦那同様ニ而
寛政三亥年十
一 種痘ニ而
但シ
月九ヒ年十月

一 松平九兵衛
歟
月年
一 松平甲斐守
女ニ
月八ヒ年
一 水戸殿
一 石江女下女
以下
彼等ハ
女ニ
但三家
寛八ニ家
女ニ
有ニ
一 貴
女ニ
有ニ

一 親族と唱候名目大方祖母同妻娘婿兄弟姉妹甥姪従弟と同看同之候下女之次第に候得共親族と唱候人は
　　其主と唱候人は
一 二人以上之主有之候節は二人し時々行通候得共
　　右之書同様同軽重を以取扱候下女共も同断
一 這回之改人家内引越又は家業休業等之節
　　其落着之上届出候事
　　何没日　　何某印
　　右之類之
　　本津五海右之通相違無之候
　　但、業体之中商勤書出
　　出之事
　　茂代文之子細候共何之類之
　　其儘不残出候事
一 手札何之宛所之分も前々之通
　　書様之儀は大略左之通
　　一 御届申上候事
　　書物之事
　　但御勤之御社寺神主之類作法事柄
一 寺社之分は何之寺何之神主と認候事
一 寛政九巳二月小平川社司小泉之親書
　　之中改書物其上
　　右同断
一 当巳机簡帳濁酒株改之節
　　附髪下女之中改書物株会所加判其上
　　右同断
一 町方は何町人之通
　　書物に候
一 町方は何町人之通
　　書物に候
一 町方は何町人之通

本書之通證文差遣候付朝鮮役人江
引渡候而相渡し其上ニ而先規之通
又ハ先例之通差出候様致ニ而添手形差出
其節元より證文ニ而手判中継候
一ヶ年
右之外其外先年書面有之候得共近年
請取不申元来重而差遣ニ不及旨被仰合

辰 正月

月番
某内匠正

一 月番ゟ手判仕出候間役中如左元廻し之義
紙面左之通

御番頭大目付衆
松浦式部様
永見伴蔵様

亀井某殿

何之誰殿より手判御役所へ元
何之手判御役何之誰殿迄御渡被成
手判御役所御役何役御渡被成候

返申候如左上ル以上

月 日

一 月番ニ而手判仕出候間役中如左
元ニ而ハ其紙面左之通
何之誰殿より手判御役所へ出候
證文返申候如左御座候
證文并手判之初月番誰殿届

一之月以上

月 日

一 手判ハ其月限之通毎日返上可申
三月越ニ而は用可申三月越ニ而は通用
添手形之通 先規之通
本紙程村紙裏白之包ニ而濃紙ニ而上ケ

女弐人内浅草小石川壱人ハ当月三拾日ニ相成
御証文之儀者伊豆国田方郡並山
箱根関所女手形差遣候二通者去ル十月廿六日
手形差出候ニ付証文添候ニ付三月朔日
右之通ニ而差遣一通ハ御判形相済候以上

寛政六寅年
三月三日　箱根　内居
人改中

一　連下五所ニ而当関数ヲ出候ニ付差紙
用人江之添書之事
但右之中ニ而候ハヽ文言ニ而
右本紙松村米校年上包洩ニ而
添書并判形等ニ而相済申候

添書并

亀井壱之丞内
鈴木理右衛門
河村四郎兵衛
秋池弥右衛門

当度對馬守様御女手形壱枚裏ニ相認
有之候ニ付連下之者御渡候ニ付
其段對馬守様御家来ニ候者ニ相達
御挨拶申候以上

寅三月十三日
亀井三之丞内
秋池弥右衛門
河村四郎兵衛
鈴木理右衛門

箱根
御関所
御番衆中

森川織部様御女手形壱枚同様ニ而
関数ヲ有之候ニ付連下之者ニ相渡申候
御渡ニ而御判形相済申候以上

寅十月十六日
亀井三之丞内
鈴木理右衛門

今切同天之
右通相違無之候
以上

一 病者 一人
一 病者看病人 一人

陳述の判

全二人門前警固に添え来たる旨申し述べ候
有之候小女二人四歳迄の者に付き
女二人に内乗船候儀差支無之候
近国通行の儀は勿論遠国通行の儀
若市川図書殿へ伺い候通り
通行差支無之候
図書殿へ伺い候通り
以上

申和四丈年
月朔日 内記

文政七申年十月十八日 病者 一人
井之河内宿
長病之女壱人
同所医師
同人
文政十三寅年七月廿日 女上下 歩人 内長病
之女壱人 歩行
童病之女壱人従宅不能回船
房州浜中内図許可有之候
寅年 居住地役之儀
卯年 其之小関村之儀
申和三年三月廿日 内記
三人
房州浜
中田

右之判形書付
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
以上

三月

房川渡
中田
[illegible]
[illegible]

相模国
箱根
[illegible]
[illegible]

一女 禅尼 尼 [illegible] 叡西尼 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

一 芸流と箱根山関所下ゟ通ハ出家山伏
ハ修行人座頭兵衛有之ハ者共
者ハ不及改相通申ハ
一 ハ五畿内ハ三家始侍ハ人数多ク之
ハ右ゟ通従業ハ別紙天文年中ハ四三家ハ
ハ数ハしるし通申ハ
一 芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ町人
外ハ三家始侍ハ人数多ク之
者ハ不及改ハ通申ハ
一 町人ハ大躰百姓ハ者ハ不相改通ハ
ハ事——
一 芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ町人
百姓ハ後者ハ不及改ハ通申ハ
一 商人ハ者荷物ハ者ハ
者ハ不通ハ例ハ
方ハ中ハ之ハ後ハ
荷物ハ所沢ハ
一 芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ
箱根通ハ事——
一 箱根ハ関所下ゟ通ハ
芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ
芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ
女ハ所沢ハ後ハ
一 能楽芸者ハ者荷物ハ
箱根通ハ事——
一 芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ
芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ
芸流ハ箱根ハ関所下ゟ通ハ
女ハ所沢ハ後ハ
一 箱根ハ関所ハ
人首死数ハ
芸根ハ
ハ通ハ関所ハ
ハハ
不中ハ
ハ通ハ関所ハ
中ハ

一 孔公者ハ養ニ相改流ル、通
養ニ通ハ孔公者ハ條同ニ通ハ當座掛方
ハ流ル、又ハ公相改通ニテハハ此文ニ當ル
一切ニ通ル下ハ
一 出家山伏ハ師坊人ニ養子ニ貰ヒ有ル有ル
ニテモ有ニ相改流ル、通
右ニ準ル、ニ孔養ニ通ハ有ル、ニ名改ニ通ハ又ハ
孔公者ハ條同ニ仕ル者ハ遠吟味ニ仕ル
ハ流ル、ニ通ル下ハ右ニ準ル、ニ門ヤ
訴人ニ相通ハ右ニ有ル門ヤ
改相通ハ
一 ハ三家ハ三家ハ給侍下ニ並人扶持ニ
ニ相改ハ流ル、ニ通
右養ニ通ハ有ル、ニ敵討ニ成候通
ハ流ル、ニ通ル
中ハ其外ニ敵討ニ成候通ハ有ル門ニ並ニ
ハ流ル、ニ通ル
一 町人百姓ニ名ニテモ有ル、ニ其訴ニ不届ニ
又ハ訴候ニ
ニ通ハ又ハ
一 盲女ニ養ニ
相通ハ

宝永二乙酉年
二月　日

相模国
根府川

公儀御代官
久保加賀守

一 今切海上ニて女共浮船ニ相添ニ而江戸ニ入候節ハ
　　江戸ニ而ハ女共ニ相添ニ而浮船ニ入候事
一 国人下り候節宿継ニ而之証文ニ而通行
　　道中ニて 就公ニ而ハ人馬共ニ相応ニ
　　代金ニて差出候事
　　明和九辰年十月

一 服部 女国許ニ而書置ニ而差出し
　　宿元ニ而之証文ニ而右書置ニ有之候
　　ニ付判ニ而ハ無之候ニ付
　　出生し女子相違ニ付
　　其訳ニ而ハ通行ニ付
一 女国許ニ而ハ死亡人ニ付
　　証文ニ而ハ何方ニ而も早人数ニ
　　引渡ニ而ハ無之候ニ付
　　不審ニ而ハ書付ニ而ハ通行
　　武蔵国
　　房川清

一 御代官所

中国

一 名東郡
　　同国
　　倉町
　　松五
　　未進ニ付
　　同国
　　小岩
　　市川

江戸ニ出ル

一 名目相違ニ而
　　右ニ而ハ相改ニ而ハ
　　証文ニ而ハ
　　相通ル
一 鉄炮ニ而ハ
　　証文ニ而ハ
　　相通ル

一 筑中志一切不相通
仙台許業候私ニ依
引有之候ハ、夜中ニ而も相通候事
私ニ不右改ハ

〔小豪和藁ヲ表ス〕 香井氏落

享保年中岡許ニ而ハ
房州波中田金四郎松戸ニ岩市川ニ許
ケ条ニ内鉄炮改方古ニ通

一 鉄炮ニ依岩ニ岡許ニ入ニ
五通ノ小筒指掟以下ニ
ニ掟ニ而ハ光中ニ岡ニ居方
相通ニ成ニ持ニ沈文ニ相通ノ

右ニ通有ニ何ニ
ニ而ハ相成ニ式ニ荒包ニ通ニ
箱ニ明ニ荒包ニ行ニ
矢ニ改ニ通ノ事ニ有ニ

右ニ許岡許ニ而ニ人ニ
掟ノ以上

寛一月

右同ニ岡許ニ
月三通

鉄炮改方

一 鉄炮拾挺以上ニ
ニ入ニ相改ニ
一 鉄炮拾挺以下九挺迄ニ
相通ニ
一 諸大名ニ而ハ
ニ示右同様ニ
ニ有ニ家来ニ
証文ニ相通ニ
一 鉄炮五月拾日以上ニ
鉄炮ニ光ニ
不ニ列候ニ

右ニ許岡許ニ而ニ人ニ
掟ノ以上

寛一月

右同ニ岡許ニ
月三通

鉄炮改方

一 鉄炮拾挺以上ニ
ニ入ニ相改ニ
一 鉄炮拾挺以下九挺迄ニ
相通ニ
一 諸大名ニ而ハ
ニ示右同様ニ
ニ有ニ家来ニ
証文ニ相通ニ
一 鉄炮五月拾日以上ニ
鉄炮ニ光ニ
不ニ列候ニ

武具改方

一具足弐拾九領　　先入ル
一鑓弐拾九筋　　同断
一弓三拾張　　同断

右貞救迚大持ち家来證文ヲ相通ヒ并余残
矢ハ御留置相伺ヒ
右ノ通申上ル

天化三癸年三月廿七日

房川淳右衛門
中田源蔵
前田兵太夫
加茂正兵衛
嶋田喜兵衛
足立孝右衛門
見習
加茂友次郎

鉄炮改方

一鉄炮壱人ニ玉目九匁壱分筒九挺壱持ち
家来ニ證文ヲ相通ヒ

一玉目拾匁ニ大筒ヲ挺ニ而発中一方ノ裏判
ハ證文ヲ相通ヒ

一箱入弐ツ筵包ニ而ヲ通ヒ蔵ヘ明ケ筵包ニ
改ヒ

一惣百ヲ矢ニ儀ヲ弐拾張矢拾ヲ二而ヲ相通ヒ并余
ハ留ヲ矢ニ而ヲ相通ヒ并余矢ハ何ヲ之ヲ行列ニ
多少ヲ持ヲ通ヒ家来ニ證文ヲ相通ヒ
惣ヲ而ヲ弐拾張弐拾ヲ二及ヲ而ヲ置
ハ何ヲ之ヲ行列ニ而ヲ
又改相通ヒ

一武具ニ儀ヲ持ヲ通ヒ證文ヲ相通ヒ并余残ノ
ハ

右ノ通申ヲ奉ヲ申上ル
天化三癸年三月

金町
松戸奉行前
山田善太ヲ
山口善ヲ
足立林市ヲ

一 金町松戸御関所之法方と同様ニ付書面略之

鉄炮改方

矢嶋伝平 下

見習 山田松次郎 下

文化三寅年三月

小岩 市川御関所番

川村甚五郎 下

田中百一郎 下

岩佐弥市 下

中根友次郎 下

武蔵国

小仏

御代官所

但三ヶ所有之古来之由申伝候ニ未定

手形不入候

江戸ゟ出ル

一 名目箱根之通

右之通ニ而改候尚当方ゟ証文ヲ相通り候也

但江戸ゟ入ルハ何ニ而も不相改候也

一 女中ハ一切不相通候

一 江戸ゟ入ル鉄炮ハ御老中ゟ証文ニ而相通ス数多ニ

而ハ江戸之方ゟ出ル鉄炮ハ鉄炮改之老中ゟ証文

ニ而相通リ持筒之儀も但具所差出候而相通リ申候

但シ猟師鉄炮之儀ハ代官所ゟ知行所ゟ手形

ニ而家来之者差添ニ而相通り申候

一 惣而之者出入之儀三日前ニ届出而相通ス

武蔵国

新郷

河野豊之進

上野国

川俣

但両札有之古来ゟ之儀ニいまし

定メ不申候

江戸ゟ出ル

一 名目箱根之通

但江戸ゟ入ルハ何ニ而も不相改候也

一 鉄炮其外武具教会ニ通ハ差出シ相次ハ而
但鉄炮教会ニ通ハ其主人ニ而武具教会ニ通ハ其
時々家老説又ハ所看ニ而ハ
差図ニ而有之候ハヽ
相通之武具ニ而ハ
右判形ニ而通之教会ニ而ハ
惣之改方ニ而ハ
江戸ニ而ハ
年号ノ由

一 夜中往来之者又相通
但市用ニ而ハ
ニ而ハ
ニ而ハ

上野岡
大戸
但之札有之
来ル
来ル

御代官所

江戸ニ而ハ

一 石目箱根ニ通
右ニ通ル改ハ
但江戸ニ而ハ
相通之通手形
ニ而ハ

一 鉄中御用花師ニ而ハ
一 武具鉄炮ニ而ハ
但之外ハ
通ル
一 寛永八年午年右御証文ニ
富士ノ者箱根ニ而ハ

上野岡
本ニ而
但之札有之
不申

江戸ニ而ハ
一 石目箱根ニ通

松平右京亮

石ヶ通ハ改印ニ而ハ無之方証文ヲ相通ハ由
但江戸ヨリ入ハ荷ヲ請取ニ来ル節ハ本ヨリ取来ル歟又ハ代
官所ヨリ取ニ遣ス歟ニ而ハ無之ヲ其村ヨリ荷ヲ受取ニ遣ス
ニ付其代官ヨリ札ヲ出ス相通ハ
一鉄炮ニ而ハ入ハ少ク
移ハ多ク候ニ付鉄炮ハ改ヲ通ハ出ス鉄炮ヲ
不改ハ通ス其外武器ハ改ヲ通ハ改ヲ請ス
又ハ不改ハ
一鉄砲ハ公儀ヨリ改ヲ通ハ出ス鉄炮ヲ
従上使ハ自分ニ用ニ候ハヽ又ハ時節ニ
寄候而ハ改ヲ通ハ出ス
一祖母ハ為養母ニ候ヲ本ヨリ取ニ遣ス
公儀ヨリ証文ヲ請ヲ為ニ而ハ無之ハ相為ニ
又ハ不ニ付公儀ヨリ証文ヲ請ヲ為ニ而ハ無之ハ相為ニ
一鉄砲ハ公儀ヨリ改ヲ通ハ出ス鉄炮ヲ
従上使ハ自分ニ用ニ候ハヽ又ハ時節ニ
寄候而ハ改ヲ通ハ出ス
一祖母ハ為養母ニ候ヲ本ヨリ取ニ遣ス
公儀ヨリ証文ヲ請ヲ為ニ而ハ無之ハ相為ニ
又ハ不ニ付公儀ヨリ証文ヲ請ヲ為ニ而ハ無之ハ相為ニ

上野国
大胡

松平大和守

江戸ヨリ出ハ
一名目相根ヲ通
石ヲ通相改ハ書付ヲ証文ヲ相通ハ由
一上方筋其余国ヨリ奥州ハ相通ハ不ヲ京都
所司代ヨリ書付ヲ証文ヲ相通ハ由
相通ス奥州ハ相通ハ不ヲ其所ヨリ証文ヲ
武具判形ヲ相通ス
一鉄炮ヲ江戸ヨリ入ハ鉄炮改ヲ通ハ出ス
ヲ家来又ハ代官ヨリ証文ヲ相通ス
元大同ヨリ先ハ先年ヨリ証文ヲ相通ス
但江戸ヨリ方々ヘ出ハ鉄炮ヲ家来ヲ利用ニ
通ハ而ヲ為ニ鉄炮ヲ自ヨリ証文ヲ家来
ヲ証文ヲ通ハ下ヲヨリ証文ヲ石ヲ証文ヲ
引合相通ス武具ヲ改ハ

一 敵中我急用ニ相通ル者ハ相改通シ

上野國　　板倉佐渡守
　　飛脚　　一名樵川ト云

江戸ヘ出ル

一 名目箱根ヨリ通
右ヨリ通相改ル筈ニ候間左様ニ御心得可被成候

一 下リ切手ハ其國ヨリ出ス筈ニ候得共福島ヨリ下ル分ハ福島ニテ調ヘ福島ヨリ通ス筈ニ候間ヘ加賀能登越中ヨリ来ル分ハ其儘相通ス

但シ先手ヨリ差出ス切手ハ福島ニテ改メ福島ヨリ下ル分ハ其儘相通ス

一 下リ候飛脚ハ　公儀ノ御用ニ候ヘ共上方筋ヨリ来ル分ハ其儘相通ス

但上方ヨリ出ル飛脚ハ改メ候ニ及ハス候得共重キ御用ニ候ヘハ此限ニ非ス

一 敵中ヨリ　公儀ノ御用ニ候ヘ共上方筋ヨリ来ル分ハ其儘相通ス

一 敵中ヨリ　公儀ノ御用ニ候ヘ共上方筋ヨリ来ル分ハ其儘相通ス

一 尾張殿紀伊殿上下ヲ以テ加賀守殿尚五捉ヲ以テ来ル分ハ其儘相通ス

一 敵中ヨリ　公儀ノ御用ニ候ヘ共上方筋ヨリ来ル分ハ其儘相通ス

一 敵中ヨリ　公儀ノ御用ニ候ヘ共上方筋ヨリ来ル分ハ其儘相通ス

但諸大名敵中ヨリ公儀又ハ相通ス右改ル筈ニ候間左様ニ御心得可被成候

記有ル

一 弓長柄鉄炮ヲ以テ家来ヲ敵ヘ相通ス

一 二條大坂ヨリ来ル分ハ尚更無切ニ御心ヲ付ケ通ス

江戸ヨリ大坂ヘ参ル分ハ尚更無切ニ御心ヲ付ケ通ス

江戸ヨリ大坂ヘ参ル分ハ尚更無切ニ御心ヲ付ケ通ス

公儀用人ヨリ之書付有ル

一 寿相通ス

一 但松平加賀守・長門守・信濃守預所之関川村
右三ヶ所旅宿之有之者、女之義ハ其中ニ而
相通候由
其外別条通り、其中ニ而相通ス
一 手負・乱心・囚人・死骸・碓氷関川御番所之旅人ニ
通り候、下り候時ハ何レ之証文ニ而相通候由
上野国
大笹
之札無之
御代官所
一 江戸へ出候
右同箱根之通
右之通女改ニ而当番方証文ニ而相通候也
但、江戸へ入候女并信州ゟ草津ゟ湯治之
女ハ其所之町在方名主証文ニ而、大笹村之
女信州ゟ出入之者、大笹村名主証文上州沼
田ゟ吾妻寺ゟ参詣之女、大笹文証之代官
証文ニ而通し

一 鉄炮之儀江戸へ入候鉄炮ハ出中方証文ニ而
相通候由、出候鉄炮ハ証文之ニ而通し候事
但、証文之通り出候ハ、鉄炮ハ証文無之者通
一 出中者大名方之信州證之急飛脚之通
但、御用中ニ近村之者、一里ゟ内ハ御改
中之相通候由
上野国
猿ヶ京
之札有之
御代官所
一 江戸へ出ル
右同箱根之通
右之通相改候間、右証文ニ而相通ス
但、江戸へ入候女ハ其所之女証文ニ而
之証文ニ而相通ス、猿ヶ京・布施村之女帰
之儀其女ハ其所之女相通ス、猿ヶ京・布施之名主
証文ニ而其改ニ而相通ス

一夜中天相通
但急飛等ハ昼中天相通ス

一諸藩ヨリ出入ノ者ハ昼中方口院又ハ相通ス 然ル
武具改ノ儀ハ諸方口院又ハ長門ノ其外天主ヲ除ク諸所ニ於テ
仕業ニ付細石ノ儀ハ吟味仕ル不審成ル者ハ
ル通シ申ス事

但諸藩ヨリ派遣ノ家来ハ後藤両村ヨリ院作間ハ
先規ノ相通シ申ス事

信濃国
福嶋
ニ孔安ヨリ

同
要川
高孔安ヨリ

同人
山村喜之丞

江戸ノ出ル

一名目箱根ヨリ通

石ヨリ通ス表口ノ警固ハ方院又ハ相通ル由
但関ヨリハ万ノ時ヨリ諸国ヨリ中院又ハ通

一家ノ版立書ヨリ前ヨリ兼テ其筋ヨリ教員
ヨリ口者沢ノ教ヨリ下通

一諸藩ヨリ派入ノ教員ハ其筋ヨリ免状ヲ
以テ出門ス義ハ
但二条ノ版ヨリ口用ヨリ教員ヨリ
院又ハ重下ヨリ表門ヨリ中方院又ハ相通
ニ御所番ヨリ出ル時ハ
ルノ

一夜中ハ門鎖ス又ハ外ヨリ入ル
但諸谷早追ヨリ教

一福島口関所ヨリ七里脇鞍川ヨリ中木ニ至ル口下リ
ハ表口ヨリ諸藩ヨリ天主ヲ除ク諸所ヨリ福島ヨリ関所
通ス中ヨリ飛州ヨリ井堂通ヨリ旅人
ハ業有ヨリ出ル時ハ諸書ヲ井堂ヨリ出ル
一切天主通ス

遠江國

一 [illegible]

一 尾州野州濃州三河遠州駿州
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [

一 名目鉄炮振之通
本手形越後国ゟ市振関所迄通し不審
越中国ゟ之手形ニ而同様之儀ニ候へ共
ニ而相通し候越後ゟ入候節も其段申上候
通不

一 武具類証文次第ニ
一 夜中ハ一切不相通
但急病人之節ハ相通し候節も御断可申上候
請合ハ夜中ニ相通し不申候

信濃国
清内路村
千村平右衛門
預り関所

一 武具類證文無之候而者通り不申候
不乱之順之武士ハ従者之書付次第ニ相改
之ニ而候ハヽ従人書付次第ニ相通
よし
一 夜中一切不相通候
信濃国

小野
同
波合
同
心川
同
帯川
ニ札有之
知久監物
預り

一 手負人・首・死骸・女・乱心者・證拠
有之候ハヽ武士之儀ハ主人之書付ニ而相通し候
之ニ皆相改従人書付次第ニ相通
よし
但女之儀ハ従者之証文ニ而相通
一 商人荷物之儀ハ證拠武具類改之上相通
一 夜中ハ一切不相通
本手形寛永年中之手形

同 [illegible]

甲斐国　[illegible]瀬

同　秀沢

同　[illegible]柳

[illegible]

一

女[illegible]法絶之人[illegible]相改[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊賀国之判鑑ニ而も可相通

一 当国浅井郡役所ニ而者同所村々之内小荒路村

中河内村中河内村ニ而者庄屋年寄之請人

判形之村之名主請人ニ而相改相通候

よし

近江国

柳ヶ瀬

右之御番所　井伊掃部頭

一 上方筋より出女ハ国所之出女ハ小女ニ而も

女ニ而も手形之判鑑改之上ニ而小女ハ

通し女ハ女ニ而江戸より越前之通り女ニ候ハヽ

夫々判鑑之留女ハ当国より越前出女

同所之者ニ女ハ手形之上ニ而請人ニ而相通

御番所より女ハ戸川ニ而相通り出女改

御手形之御二通り方ニ而相通り候事

右之女ハ当国中之人改手判之事ニ而判

之上方之分ハ右之通り相通り候ハヽ

頭之之印判ニ而右手形ニ而判形之相通人

近江国

山中

右之御番所　朽木[illegible]

一 両国ハ出女国所之通り小国ハ出女手形

出よし

但小国ハ上方より出女ハ女手形ニ而相通但諸

国共大坂之御城代裏判ニ而相通り候よし

判鑑之入女ハ手形ニ而可相通よし

一 当国浅井郡之役所ニ而相改之上ニ而相通之分

三ケ所

一 出女ハ手形ニ而相通よし

但関所手形之入女ハ判形ニ而相通候よし

右通り

上野國　南牧
同　西牧
同　白井

一　三ヶ所之儀、従前々通程近ニ候ハヽ、
歳貢米之儀ハ、
一　女子之儀ハ、
一　帯之儀ハ、

上野國

御役所

御役所

一　御年貢米之儀ハ、
一　御年貢米之儀ハ、
一　御年貢米之儀ハ、

御役所

御役所

御役所

一 本旅籠并ニ飯盛女

但馬川筋

相模國　　潮賀

一　女官ヨリ之由ヲ奏聞シ勅使ヲ差遣ス事

一　女官ヨリ之由ヲ奏聞シ勅使ヲ差遣ス事

但信濃國ハ古ヨリ女官ヲ置ク

一　女官ヨリ之由ヲ奏聞シ勅使ヲ差遣ス事

但信濃國ハ古ヨリ女官ヲ置ク

一　女官ヨリ之由ヲ奏聞シ勅使ヲ差遣ス事

但信濃國ハ古ヨリ女官ヲ置ク

一　女官ヨリ之由ヲ奏聞シ勅使ヲ差遣ス事

但信濃國ハ古ヨリ女官ヲ置ク

一　女官ヨリ之由ヲ奏聞シ勅使ヲ差遣ス事

但信濃國ハ古ヨリ女官ヲ置ク

一　女官ヨリ之由ヲ奏聞シ勅使ヲ差遣ス事

但信濃國ハ古ヨリ女官ヲ置ク

二月七日

箱根　根府川

右ハ當酉年二月四日ニ箱根
根府川ニ石圖所ニ而差越
指紋請取之上ハ可相遣者也

文化四年卯二月

箱根　根府川

右ハ當酉年二月四日ニ箱根
根府川ニ石圖所ニ而差越
指紋請取之上ハ可相遣者也

文化四年卯二月

箱根
三人下

右ハ當酉年二月四日ニ箱根
根府川ニ石圖所ニ而差越
指紋請取之上ハ可相遣者也

文化四年卯二月

箱根根府川
石圖所ニ而差越
指紋請取之上ハ可相遣者也

文化四年卯二月

作永

三人
同川

小佛

一 三尺三寸 四挺
右宮貫量書
一 三尺三寸 四挺
右三角棚
一 三尺三寸 四挺
右仙台七通
一 三尺三寸 四挺
右伊賀紀
一 三尺三寸 四挺
右御手会人
一 三尺三寸 四挺
右御手会者
一 三尺三寸 四挺
右御手会者
一 三尺三寸 四挺
右御手会者
一 三尺三寸 四挺
右御手会者
一 三尺三寸 四挺
右御手会者
一 三尺三寸 四挺
右御手会者

右相長御手会者
中御手会者
小御手会者
右御手会者
寛政七卯
二月廿日

岩
市川團蔵書

覚

一 三尺三寸 八挺
一 三尺三寸 三挺
一 三尺三寸 拾七挺
一 三尺三寸 七挺

覚

一 [illegible]　三匁五分宛　弐拾挺

右者此度[illegible]用[illegible]

[illegible]

三橋[illegible]

[illegible]所[illegible]

[illegible]以上

寛政十二
申十二月十五日

内記印

広川清
中田　[illegible]所[illegible]

覚

一 [illegible]　拾七挺

但十七挺

一 [illegible]　三挺

但[illegible]

一 [illegible]　三拾挺

一 同　拾挺

右者此度[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以上

寛政十二
申十二月[illegible]日

内記印

広川清
中田　[illegible]所[illegible]

右[illegible]広川[illegible]中田[illegible]

中川[illegible]

返達[illegible]

覚

一 [illegible]

右者[illegible]

三拾石宛つゝ御加増
之有遣之候間可被
心得候
以上

寛政十三
四月八日

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右御加増御渡中間
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

賞

一 恩賜
但十二枚

[illegible]

一 [illegible]
但三枚

[illegible]

一 [illegible]
但三枚

[illegible]

一 [illegible]
但三枚

[illegible]

一 [illegible]
但三枚

[illegible]

右御加増御渡中間
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一文化元子年四番船積渡
[illegible]

賞

一金子　人
一持高
　但一ヶ年ニ積渡高
　[illegible]
　恩七人
一役料高
　但一ヶ年ニ積渡
一酒合業
　但二箱ニ
　[illegible]

文化四年
六月十二日

唐川源兵衛
中山
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

賞

一銀子百枚
一三枚同断
一壱枚同断
一七貫同断
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右國所[illegible]
[illegible]
一 文化二巳年十月十日 荏原郡[illegible]

賢

一 三枝[illegible]
但車曳書[illegible] 手疵
一 [illegible]
但[illegible] 手疵
一 [illegible]
但[illegible] 手疵
一 [illegible]

[illegible]

[illegible]
文化四卯
三月十六日 [illegible]

[illegible]
[illegible]

右[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一奥医　指二順

一法眼　指二順

一奥医　指二順

一法眼　指二順

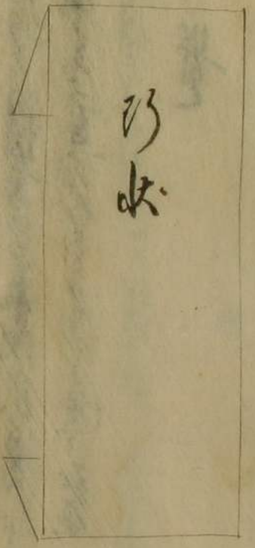
一奥医　指二順

一法眼　指二順

一 鉄炮 拾挺
但シ玉目五匁筒
一 矢 五百本
以上
右者此度御戸石伊勢守殿領分下総国香取
郡之内多古陣屋より江戸表江差遣ニ付小見川
御関所御通り被遊被下候様奉願上候以上
文化五戊辰年五月　松平中務少輔
小見川御番所
御役人衆中
右御證文之通人足共罷通り候ニ付御関所御通り被遊被下候
之通り被遊被下候様奉願上候以上
得共御證文之通り御関所罷通り候ニ付
御用願之通被遊被下候
但此御證文御番所ニ而御引留被遊候
御用願之通御差図被下候様奉願上候以上

覚
一 具足 拾壱領
内 侍具足 壱領
足軽具足 拾領
一 鉄炮 拾挺
但シ玉目五匁筒
一 矢 五百本
右者松平中務少輔領分下総国香取郡
多古陣屋近江守差遣候ニ付小見川御関所
無相違御通し可被下候以上

文化元年辰
五月廿日差越下
右御触書御廻状
市川
関所
青中



右御触書御廻状
但文化元年辰
七月廿日差越候
御触書之内
写取ル

辰六月廿日同番帳ニ有之
一戸両御番所ニ有之
一通

内 百日筒
長柄仕掛ケ筒
三挺
棒火筒
三挺
棒火筒
二挺

百日筒
長柄仕掛ケ筒
棒火筒
棒火筒

一奥之
一弐挺員之
右御触書御廻状
市川
関所
青中

一

松浦越前守殿
酒井根来内匠頭殿
松平伊豆守殿

右同文言

新郷川俣関所
河野播磨守殿

永見伊豫守江此段申達候、若狭守殿被仰渡候
江 伊奈大和関所 当月十五日一段
加判当関川関所新居新川今一ヶ所遣候
以中来一筋しれ候也

文化五辰
三月二日

石河若狭守
柳生式部少輔殿
曲淵甲斐守殿
松浦越前守殿
酒井根来大内記殿

小料関所
松平大和守殿

箱根関所
大久保加賀守殿

根府川関所
大久保安芸守殿

栗橋関所
松平右京亮殿

関宿関所
久世大和守殿

碓氷関所
板倉伊勢守殿

石河若狭守

永見伊豫守江此段申達候、若狭守殿被仰渡候、同役
衆 伊奈大和関所 当月十五日一段加判
當福島関所 新居新川今一ヶ所遣候

文化
三月二日

福浦関所
山村善次
岩帯川関所
仕来通り
今井松戸関所
仕来通り
小伴関所
仕来通り
唐川渡中関所
竹垣善次
大戸関所
稲垣重帯
板ヶ平関所
稲垣重帯

大井善次
福浦善次
渡辺善次

大井関所
稲垣重帯

右一眉月代剃切疵之有無ニ不拘
有之候ハヽ可申出候
唐川善次

右一眉月代剃切疵之有無ニ不拘
有之候ハヽ可申出候
唐川善次

今年春三月中旬ヨリ大雨降続キ洪水度々ニ及ヒ
武州多摩郡ノ内
秦元滅候ニ付
中川堤淳ノ内
寛政十年午春三月
内記下
三人下
小仲
人改中

送歎歌

去年桐掩ノ度ニ
同信州善光寺迄
善光寺迄一ノ通リ
前ノ如シ
寛政十年午五月
内記下
三人下
前根
人改中

女式人内腰縄所ノ人
善光寺迄小荷物
去年中野ノ御
又右ノ女房同
此ノ外ニ
中野ノ御
文化二年丑三月
三人下
小岩
市川
人改中

返済小女[illegible]判

小女もの後家不縁国[illegible]
国所へ参遠[illegible]
村百姓市[illegible]
十五歳迄親[illegible]
元き[illegible]

天保二年辰閏正月晦日

[illegible]
市川　小岩
三人下

右之例京和元申年七月晦日大坂今井善兵
[illegible]

上野統前[illegible]

女もの人数[illegible]

[illegible]
市川　小岩
人改中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前根

永雲同文云

右村二ツ打表白上包共波銭打越上洛ス

前根大見下

松浦越前守下

酒井左衛門尉下

永見伊勢守下

人改中

有栖川宮御若宮ヘ御方様ヨリ御下ケ被遊候ニ付

寺格方奏度岩井下ヨリ申来候ニ付

御取次ニ而申上候事

通り之書付ニ而御役人同役ヲ以

永雲同所ヨリ差上候

右通り之書面ニ而宜敷哉ト申来ル

右通り之書面ニ而宜敷哉ト申来ル

文化元子

七月

近衛様御内

栄根大見下

今度

御室之御方様ヨリ御下ケ被遊候ニ付

通り之書付ニ而

松浦越前守ヨリ被仰下候ニ付

御寺格方ヨリ御役人同所ヨリ差上候

通り之書面ニ而宜敷哉ト申来ル

右之通り之書付ニ而宜敷哉ト申来ル

子七月

松浦越前守

松会津守殿

前根大見下

如此之人従御方様被遊前根同所ヨリ差遣

通り山岡右馬下女ヨリ波書面之通ニ而

御判形御名前被遊候事

文化元年辰閏正月廿六日

今出川大納言

千ヲ下

千ヲ下

右之通被仰渡候ニ付
書面之通令可相心得候
以上

寛政三亥年十二月十四日

松平周防守
家来

十月

松平周防守
家来

右之通被仰渡候ニ付
書面之通令可相心得候
以上

寛政三亥年十二月十四日

松平周防守
家来

寛政三亥
十一月十日　御印

公所
松戸　八郎

右御証文は上総方前ニ同所右之通書付ニ
差上申候

戸田通行改名之前関所迄

一　戸田越前守殿江戸通行ニ付福島関所ニ相改候ニ付、十二月廿七日より
近江通行関所以関所、八日より近江守
御碓氷関所より常ニ相通り可被成候以上

安永三年
十二月十二日　河野豊前守

一　大名衆之関所　右御文言
一　御中屋敷より関所ニ通り可申候　松平讃岐守

追而御下知有之候間御通可被成候以上
右之御文言ニ御書付御達ニ付相改申候
細役人衆ニ御通り被成候　勤番ニ付役者衆
之候

尾張殿上京ニ付関所ニ

尾張殿女従江戸東海道通上京ニ付
於関所無相改可被通候　此段可被心得
御手控（？）御通之　上京ニ付
東海道十三日関地出立候ニ付
御差通通可被成候以上

文化元年
十一月九日　亀井（？）

箱根
関所

今切関所文言

一紙ニ而差出候事

右書付之通相違無御座候

以上

文化八年未十一月

奥御医師

養安院法印

女三人内

大坂道頓堀ニ而勧進興行致候節

雑水病ニ而

大坂ニ而

養安院法印ニ

相掛り

雑水病ニ而

養安院法印ニ

相掛り

右之者共

文化八年未十一月

養安院法印

文化九申年二月廿七日

差

乍恐口上書

中国金町松戸新宿川縁通
新宿川縁通

右之通相違無御座候ハヽ
御慈悲を以御聞済被成下
置候様奉願上候以上

文化九申年二月廿七日

右願書松戸宿御役所へ差出候ニ付
奥印仕候

差

一 済口証文

但し双方より取替せ
証文弐通ツヽ

一 半紙

但し双方より取替せ
証文弐通ツヽ

九ツ

書面済口証文弐通
中国金町新宿川縁通
九ツ半過ニ差出候ニ付
奥印仕候

松戸宿

地沒人地所轄
調金業半紙
中由出願所
[illegible]
[illegible]
[illegible]

但自分ニ振七貫文宛相渡

右之江州ゟ役所ニ掛り候ニ付
地役人相立ニ而御伺申上候間
合筆写證文致し候ニ付
ハ御ヲ房川渡中田関所御前通
被成候様被仰付可被下候以上

文化七年
六月廿日　藪　右衛門

房川渡
中田　関所　番所

右房川渡中田関所ゟ申達候ニ付差上申候
達し

但右之者并ニ振七貫文宛相渡
七ッ時ニ通り御差紙差遣
右之者共ニ相掛り候ニ付
ニ人ニ申付差出し申候
通候様申遣

右自分番頭根之事

一 江州国友鍛冶上納之鉄炮之事

御老中殿

江州国友鍛冶上納御鉄炮今切御関所御通被成候様
被仰付候

何某

覚

一 百目玉御鉄炮　弐挺
一 拾匁玉御鉄炮　三挺
一 三十目玉御鉄炮　弐拾七挺

合　弐拾七挺ニ而候

右御鉄炮江州国友鍛冶新御鉄炮書面之通
此度上納仕候ニ付今切御関所御通被成
候様御願候以上

中
七月

古坂　与吉
牧　宗三郎

天保十二辛丑年
二月上旬寫之

5年 / 月

一